

2012年7月

東日本大震災でのオペレーションに関するアンケート調査のお願い

公益社団法人 化学工学会 S I S 部会 プラントオペレーション分科会
公益社団法人 計測自動制御学会 産業応用部門 計装技術交流部会

謹啓

貴社、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年の東日本大震災におきまして被害を受けられました皆様には、心からお見舞申し上げます。

さて、化学工学会のプラントオペレーション分科会では、1995年の阪神淡路大震災におきまして、震災での教訓を後世に残し、得られた知見をその後の震災対策に役立てるためにアンケート調査を実施し、報告書を作成致しました。

今回の東日本大震災では地震や津波の被害はさらに大きく、ご承知のように装置産業における被害も甚大で、復旧にも多くの時間や費用が必要とされました。

阪神淡路大震災から15年余りが経過し、その後の災害に対応する技術の普及や、リスク管理に対する考え方の広がりもあって、今回の東日本大震災では被害を最小限に留めることができた部分もあれば、依然として対応策が十分ではなく、将来への教訓や、今後の技術的な検討課題として認識された部分もあろうかと思われまます。

今般、東日本大震災から1年余りが経過し、やや遅いスタートとなりましたが、装置産業における震災に対する問題点を改めて掘り起こし、有効だった対応策やこれからの改善が必要な点をアンケート調査により抽出し整理することで、今後予想される東海・東南海・南海の3連動地震、あるいは日向灘を含めた4連動地震、また、プラントが林立する地区の近くでの直下型地震に対する備えをより強化していくための検討材料として、関係各社に情報を提供していくことを考えております。

つきましては、東日本大震災における各社の被災状況、対応状況、対応策の有効性、課題などに関しまして、添付のアンケート調査にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

ご回答は添付の Excel ファイルに直接ご入力いただき、以下の宛先に8月10日(金)までに、電子メールにてお送りいただきたいと思います。

ご協力いただきました皆様へは、集計結果および考察をまとめた冊子(またはご希望により pdf ファイル)をお送りさせていただきます。

なお、被災状況など機微な情報もございますので、ご回答が困難な設問につきましては空白のままスキップしていただいて結構でございます。また、いただきましたアンケートのご回答は統計的に処理し、自由記述部のご回答内容も含め、企業名が推測できるかたちでは公開いたしません。さらに、ご協力いただきました企業名の一覧は報告書には記載致しません。

何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

アンケートご返送先 : shinsai@manage.nitech.ac.jp

ご質問先 : 名古屋工業大学 都市社会工学科 情報工学専攻

システム制御分野 教授 橋本 芳宏 hashimoto@nitech.ac.jp